

2 これまでのみちづくりの実績

(1) 前計画(R2)のふりかえり

前計画では、みちづくりの方向性として「3つのビジョン」を掲げ、ビジョン毎に施策を設定し、取り組みを進めてきました。

みちづくりの方向性(前計画)

コンセプト『魅力的で持続可能なみちづくり』

ビジョン1 都市の発展と持続を支えるみちづくり

【みちづくりの方向性】

- ①都市の発展や企業の物流振興を支え、国際競争力のある物流拠点都市の形成を図ります。
- ②空港や港湾等の物流拠点や各都市間のアクセスを強化し、平常時・災害時を問わない安定的な物流・人流を確保・活性化するため、広域道路ネットワークの整備を進めます。
- ③小倉都心や黒崎副都心等のまちなかに活力を与える市街地の道路整備を進めます。
- ④市内の主要渋滞箇所を改善し、交通の円滑化を図ります。

ビジョン2 安全・安心で住みよいまちを支えるみちづくり

【みちづくりの方向性】

- ①誰もが安全・安心に通行できるみちづくりを進めます。
- ②道路の維持管理や道路施設の長寿命化、無電柱化により交通環境の改善を図るとともに、災害に強いみちづくりを進めます。
- ③安全で快適な自転車利用環境の整備を進めます。

ビジョン3 魅力あふれるまちを支えるみちづくり

【みちづくりの方向性】

- ①交通結節機能の強化により公共交通の利便性を高めるとともに、コンパクトなまちづくりを進めます。
- ②道路空間を活用し、市内外の人でにぎわう、人中心のみちづくりを進めます。
- ③魅力ある道路景観の創出と沿道環境に配慮したみちづくりを進めます。
- ④地域住民が道路に愛着を持って取り組む活動を応援します。

ビジョン1 都市の発展と持続を支えるみちづくり

●都市の強靱化に資する重要物流
道路をはじめとした、物流・人流を
支える広域道路ネットワークの構築

-

A photograph of a city street intersection. In the foreground, a pedestrian crossing is marked with a blue and white checkered pattern. A white zebra crossing is visible further back. Several cars are driving on the road. In the background, there are multi-story buildings and a clear blue sky.

整備前

A street view before renovation. The road is multi-lane with a white van in the left lane and several cars in the right lanes. A pedestrian crossing is visible in the foreground. Buildings and trees line the street.

整備前

整備後



整備後

■ R1～R5供用済・予定
(暫定供用含む)

— 新設
----- 拡幅

■ 事業中

— 新設
----- 拡幅

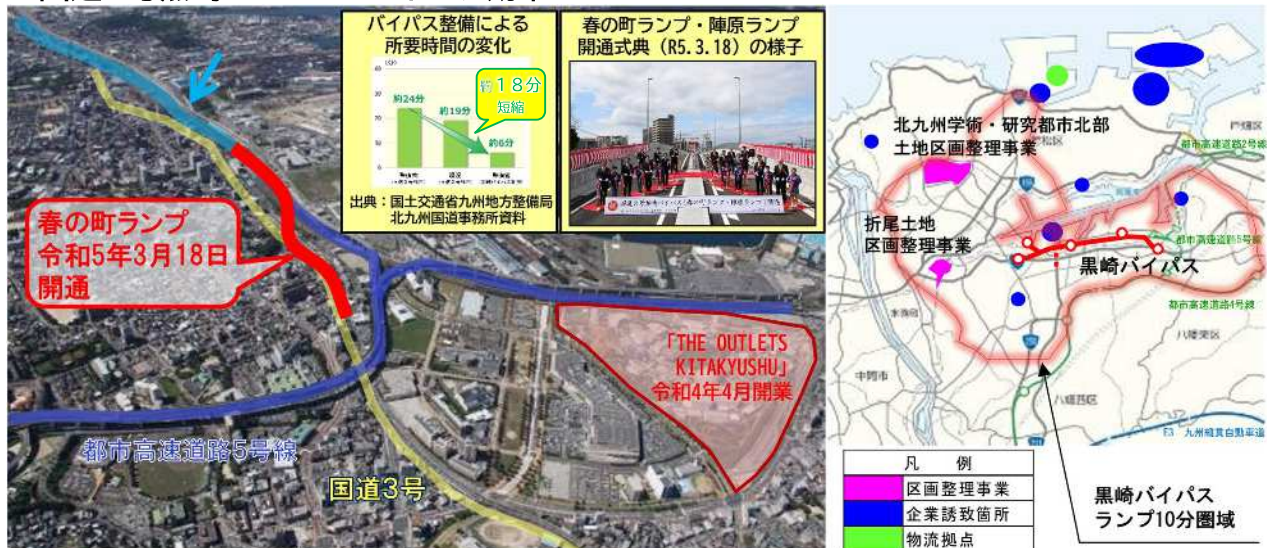


4

<ビジョン1 都市の発展と持続を支えるみちづくりによる主な整備効果>

道路整備に伴い企業や住宅などが立地し、生産性の向上や居住人口の増加、雇用などの効果が現れています。

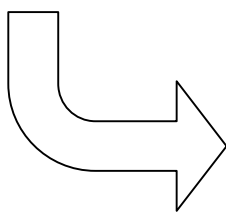
■国道3号黒崎バイパスのストック効果



航空写真(昭和53年)



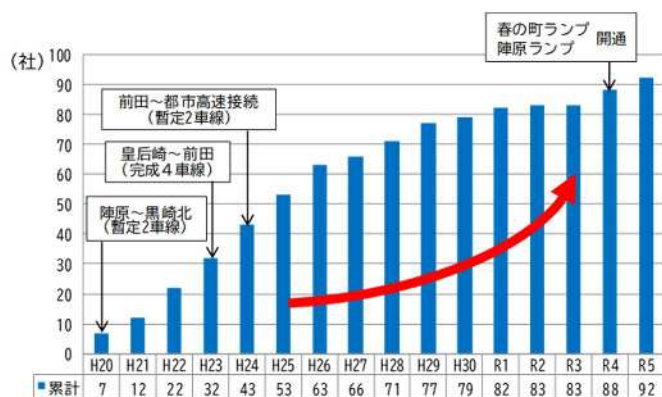
航空写真(令和5年)



凡 例				
	業 種	H19	R5	増加数 (R5-H19)
第二次産業	鉱業・採石業・砂利採取業	1	1	0
	建設業	1	2	1
	製造業	3	4	1
第三次産業	情報通信業	11	14	3
	卸売業、小売業	8	19	11
	学術研究、専門・技術サービス業	2	2	0
	生活関連サービス業、娯楽業	6	5	-1
	その他	12	34	22
合 計		44	81	37

<企業の立地状況>

平成20年度の暫定供用後、黒崎バイパス沿線で92社の企業が進出しています。
全線供用で更なる企業進出が期待されます。



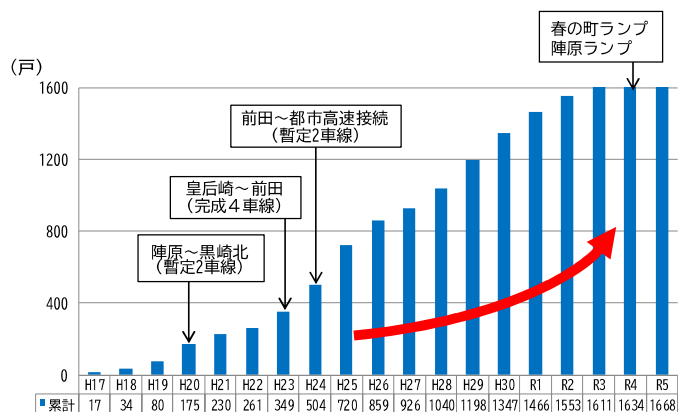
▲企業の立地状況



▲THE OUTLETS KITAKYUSHU
(令和4年4月 オープン)

<北九州学術・研究都市北部土地区画整理区域 居住状況>

平成20年度の暫定供用後、分譲が急速に進み、1,668戸が建築されています。



▲住宅の居住状況



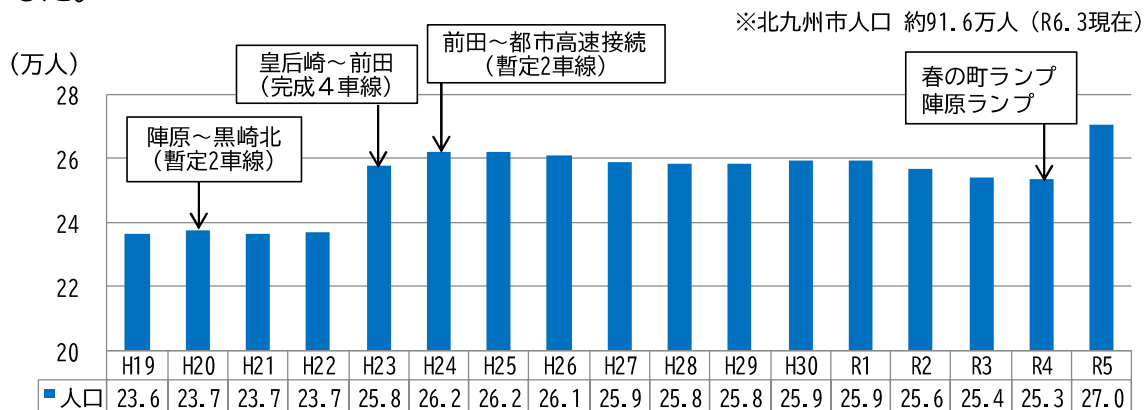
航空写真(平成19年)

航空写真(令和5年)



<黒崎バイパス供用ランプ10分圏域カバー人口の推移>

平成20年度の暫定供用後、約3割の市民が黒崎バイパスのランプまでアクセス可能となりました。



▲黒崎バイパス供用ランプ10分圏域カバー人口

※北九州市人口 約91.6万人 (R6.3現在)

ビジョン2 安全・安心で住みよいまちを支えるみちづくり

歩行者、車いす、自転車の利用に配慮した人にやさしい安全・安心なみちづくりや、橋梁・トンネル・モノレールの長寿命化対策等、災害に強いみちづくりを行いました。

- 道路のバリアフリー化
- 事故危険箇所の事故防止対策
- 生活道路の交通安全対策
- 通学路等の交通安全対策(安全点検・危険箇所の安全対策)
- その他の交通安全対策
- ICTを活用した新たな道路施策の検討
- 道路の維持管理
- 橋梁、モノレールの耐震対策
- 道路の無電柱化の促進
- 自転車利用環境の向上



▲主要駅周辺のバリアフリー化
(JR安部山公園駅)



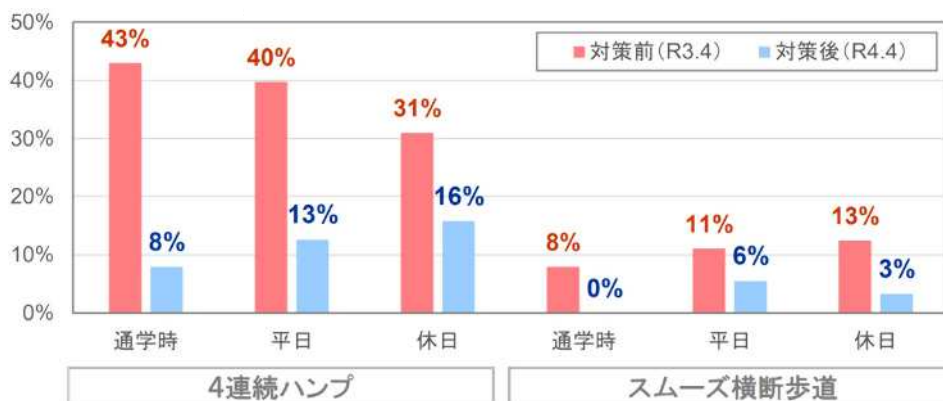
▲歩道のバリアフリー化
(一枝21号線)

<ビジョン2 生活道路の交通安全対策の整備効果>

北九州市八幡西区 医生ヶ丘・千代ヶ崎地区は、令和3年11月に、「4連続ハンプ」、「スムーズ横断歩道」の2つの物理的デバイスが設置され、令和4年にゾーン30プラスに登録されました。平日の通学時間帯のみならず、平日・休日の昼間12時間でも速度抑制の状況が把握されており、「4連続ハンプ」、「スムーズ横断歩道」ともに対策の効果がみられました。



▲対策箇所(医生ヶ丘・千代ヶ崎地区)



▲速度30km/hを超過したサンプル数の割合

出典:令和5年度福岡県道路交通環境安全推進連絡会議資料(令和6年3月国土交通省九州地方整備局)

ビジョン3 魅力あふれるまちを支えるみちづくり

美しい道路景観の創出と沿道環境に配慮したみちづくりや、地域との協働によるおもてなしとにぎわいのあるみちづくりを行いました。

- 面整備を活用した道路交通の環境改善
- 公共交通の利用促進・利便性向上
- 魅力的なみちづくり
- サイクルツーリズムの推進
- 景観に配慮したみちづくり
- 環境に配慮したみちづくり
- 中心市街地のサイン整備
- 市民による地域のまちづくり

<公共交通の利用促進・利便性向上>



▲折尾駅北側駅前広場

<ビジョン3 景観に配慮したみちづくりの実績>



▲鍛冶町1号線（鷗外通り）
繁華街の雰囲気づくりに
資する道路整備



▲東浜町1号線

高架下の通路の改修に合わせて、
民間企業と連携してレンガ壁や花壇等を
設置し、良好な道路景観を形成

<ビジョン3 魅力的なみちづくり(国家戦略道路占用事業)の実績>



▲魚町11号線（小倉北区）
道路を活用したにぎわいづくり



▲黒崎駅ペDESTリアンデッキ（八幡西区）
駅前広場を活用したにぎわいづくり

(3)前計画(R2)の効果指標と目標達成状況

令和2年度に策定した前計画では施策の効果を検証するため、14項目の目標値を設定、令和5年度末の実績を検証した結果、14項目中8項目が達成、6項目が未達成でした。

未達成の施策は、下表「未達成の要因」のとおり、工事遅延、関係者協議の難航等により目標を達成できなかったため、引き続き、事業の進捗に向けて取り組む必要があります。

▼前計画(令和2年)の効果指標と目標達成状況

効果指標			前計画(R2)		実績	目標 達成率	未達成の 要因	
			現況	目標値				
			H30年度末	R5年度末	R5年度末			
ビジョン1 都市の発展と持続を支えるみちづくり								
1	施策 1-1	広域道路ネットワークの供用率 (総延長514,600km)	95.4%	97%	95.8%	未達成	工事遅延	
2	施策 1-3	主要渋滞箇所における渋滞対策の実施済箇所数 (対象:市管理18箇所)	3箇所	6箇所	6箇所	達成	－	
ビジョン2 安全・安心で住みよいまちを支えるみちづくり								
3	施策 2-1	主要駅周辺の特定道路等のバリアフリー化率	91% 39.75km	100% 43.93km	95% 41.84km	未達成	工事遅延	
4	施策 2-2	事故危険箇所における事故防止対策の実施済箇所数 (対象:市管理70箇所)	53箇所	70箇所	69箇所	未達成	関係者協議 の難航	
5	施策 2-3	ビッグデータを活用した交通安全対策の着手地区数	0地区	11地区	11地区	達成	－	
6	施策 2-4	通学路の合同点検の実施率 (※点検2巡目となる令和2年度から5年間を目処に全ての 小中学校区を対象に実施)	0%	80% 152校区	84% 159校区	達成	－	
7	施策 2-7	①橋梁・ トンネル・ モノレール の長寿命化対 策	①-1橋梁リニューアル工事の着手率 (対象:H26～H30定期点検で健全性Ⅲに分類 された橋梁)	39% 32橋	100% 82橋	96% 79橋	未達成	工事遅延
8			①-2トンネルリニューアル工事の着手率 (対象:H26～H30定期点検で健全性Ⅲに分類 されたトンネル)	75% 3本	100% 4本	100% 4本	達成	－
9			①-3モノレール劣化対策工事の着手率 (対象:H26～H27定期点検で健全性Ⅲに分類 された施設等)	70% 386箇所	100% 551箇所	97% 534箇所	未達成	工事遅延
10		②緊急輸送道路沿線における道路のり面強化の実施済箇所数 (対象:平成30年度に防災・減災、国土強靱化のための3か年緊 急対策の対象となった6路線)		0路線	6路線	6路線	達成	－
11	施策 2-9	道路の無電柱化整備率(合意延長ベース) (対象:第1期～第7期無電柱化推進計画の合意路線のうち市が 管理する道路)	90%	94%	97%	達成	－	
ビジョン3 魅力あふれるまちを支えるみちづくり								
12	施策 3-3	道路を活用したにぎわいづくり (国家戦略道路占用事業の実施日数)	延べ 157日/年	延べ 150日/年	延べ 60日/年	未達成	新型コロナウィ ルス感染症に伴 う行動制限	
13	施策 3-6	市内における道路照明のLED化率	77% 13,459	90% 15,570	90% 15,896	達成	－	
14	施策 3-8	北九州市道路サポーターの加入団体数	232	250	259	達成	－	